

## 議事日程

第 1 諸般の報告

第 2 議案第 15 号 令和 2 年度上田地域広域連合一般会計決算認定について

第 3 議案第 16 号 令和 2 年度上田地域広域連合ふるさと基金特別会計決算認定について

第 4 議案第 17 号 令和 2 年度上田地域広域連合介護保険特別会計決算認定について

第 5 議案第 18 号 令和 2 年度上田地域広域連合消防特別会計決算認定について

## 本日の会議に付議した事件

日程第1から第5まで

### 出席議員（23名）

第1番	石合祐太	君
第2番	松尾卓	君
第3番	金子和夫	君
第4番	斉藤達也	君
第5番	窪田俊介	君
第6番	山崎康一	君
第7番	宮下壽章	君
第8番	金井とも子	君
第9番	井澤毅	君
第10番	原栄一	君
第11番	宮下省二	君
第12番	飯島伴典	君
第13番	佐藤千枝	君
第14番	長越修一	君
第15番	森田公明	君
第16番	宮沢清治	君
第17番	金沢広美	君
第18番	土屋勝浩	君
第19番	池田総一郎	君
第20番	半田大介	君
第21番	久保田由夫	君
第22番	大森茂彦	君
第23番	塩野入猛	君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

広域連合長 土屋陽一君

副広域連合長 ○東御市長 花岡利夫君

○青木村長 北村政夫君

○坂城町長 山村弘君

広域連合監査委員 後藤菊夫君

事務局 ○事務局長 宮澤清彦君

○消防長 堀池正博君

○会計管理者 小林薫君

○事務局  
総務課長 青木卓郎君

○事務局  
企画課長 柳澤亮君

○事務局  
介護障がい  
審査課長 大森敏弘君

○事務局  
ごみ処理  
広域化  
推進室長 佐藤安則君

○消防次長  
(兼)  
警防課長 石井重男君

○消防次長  
(兼)  
上田中央  
消防署長 宮原正晴君

○消防本部  
総務課長 西澤和浩君

○清浄園所長 山越晃君

- 上 クリーナーセンター長 田 西 澤 透 君
- 丸 クリーナーセンター長 子 青 木 正 光 君
- 東 クリーナーセンター長 部 高 藤 博 幸 君
- 消 防 本 部 長 齋 藤 武 昭 君
- 予 防 課 長
- 事 務 局 鈴 木 周 平 君

## 本会議

午後 1時30分 開 議

- \* 議長（土屋勝浩君） これより本日の会議を開きます。

### 日程第1 諸般の報告

- \* 議長（土屋勝浩君） はじめに、日程第1、諸般の報告を行います。

去る10月22日に開催された総務委員会において上田創造館運営委員会委員に池田総一郎議員と長越修一議員が選出されたとの報告がありました。

### 日程第2 議案第15号

- \* 議長（土屋勝浩君） 次に、日程第2、議案第15号を議題とし、まず総務委員長の報告を求めます。

池田総務委員長。

[総務委員長 池田総一郎君登壇]

- \* 総務委員長（池田総一郎君） 総務委員会は、去る10月22日に開催し、付託案件の審査を終了いたしましたので、その概要について順次御報告申し上げます。

まず、議案第15号 令和2年度上田地域広域連合一般会計決算認定中担当分について、はじめにまちづくり研究基金の保管状況について、有価証券が1,280万円余減少しているが、その内容は何か。また、現在保管している有価証券はどのようなものがあるか。

これに対し、埼玉県公債で保管していた額面1,280万円の債権が令和2年12月に満期を迎え、現金に償還されたものであり、償還後は定期預金で保管している。また、現在保管している有価証券は、大阪府公債の額面4,900万円と静岡県公債の額面800万円の債権である。

次に、審査意見書に「施設の電力調達方法をエネルギーサービスプロバイダー方式に切り替えたことにより、電力の経費の大幅な削減が図られた」とあるが、効果はどのくらいあったのか、また契約期間はどのくらいか。

これに対し、電力需給業者切替え後の令和3年1月から3月分の電気料金について、前年の同期と比較し、広域連合全体で945万円の削減となった。また、契約期間は1年更新となっている。

次に、広域行政モニターからはどのような意見が出ているか。

これに対し、広域連合で年4回発行している広報紙について毎回意見をいただき、見やすさ、読みやすさに対する意見などを紙面づくりに生かしている。

次に、市町村には議会広報があるが、広域連合では作っていない。広域連合の広報紙に議会の一般質問を掲載したらどうか。

これに対し、今後検討をしていく。

次に、広域的な観光振興事業について、具体的な効果や広域で観光事業を行う意義、市町村の観光協会との連携など、内容及びコロナ禍における実績はどうか。

これに対し、上田圏域の認知度の向上や誘客、情報発信、周遊につながる事業を行っており、主なものはパンフレットの発行、観光キャンペーン、広域周遊スタンプラリー事業がある。なお、令和2年度はコロナ禍により観光キャンペーンは中止した。効果としては、身近な観光の周知や魅力の再発見につながっている。また、上田圏域のパンフレットを制作することで4市町村と連携し、地域全体の情報発信を行っている。

次に、図書館情報ネットワークサーバー機器等リース料について、前年度と比較し、670万円余の増額となっているが、その内容はどうか。

これに対し、令和元年度はリース期間が終了し、無償譲渡となったサーバー機器等を令和元年12月まで使用し、令和元年1月から更新したサーバー機器等のリース料3か月分の支出を行った。令和2年度は、12か月分のリース料として900万円余の支出となり、増額となっているとの質疑応答があり、本案分担分については認定すべきものと決定いたしました。

\* 議長（土屋勝浩君） 次に、保健福祉委員長の報告を求めます。

宮下保健福祉委員長。

[保健福祉委員長 宮下省二君登壇]

\* 保健福祉委員長（宮下省二君） 保健福祉委員会は、去る10月22日に開催し、付託案件の審査を終了いたしましたので、その概要について順次御報告申し上げます。

まず、議案第15号 令和2年度上田地域広域連合一般会計決算認定中担当分については、はじめに圏域外への救急搬送件数について、佐久医療センターへの搬送件数はどうか、また総体的に割合は増えているのか。

これに対し、令和2年度の搬送件数は361件であった。前年度と比較し、総体的な割合は若干増加している。

次に、清浄園の焼成肥料サラ・さらさの配布量が増えたことによる決算上の影響は何か。

これに対し、汚泥焼却灰を焼成肥料のサラ・さらさとして地域住民に配布することにより、焼却灰の外部処分量が減ったため、汚泥焼却灰処分に係る業務委託料が減額となった。

次に、上田クリーンセンター費における需用費から役務費へ5万円を流用した理由は何か。

これに対し、施設の電力調達方法をエネルギーサービスプロバイダー方式へ切り替えたことに伴う手数料の不足分に対する流用である。

次に、電力調達方法を同方式に切り替えたことによる上田クリーンセンターの削減効果はどのく

らいか。

これに対し、電力需給業者切替え後の令和3年1月から3月分までの電気料金について、前年の同期と比較し、447万8,000円余の削減となった。

次に、東部クリーンセンター費における委託料の不用額の内容は何か。

これに対し、焼却設備に係る年次点検業務において予算額と落札額の差で400万円が生じたことなど、入札差金であるとの質疑応答があり、本案中担当分については認定すべきものと決定いたしました。

\* 議長（土屋勝浩君） 以上で委員長報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

\* 議長（土屋勝浩君） これより討論に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

\* 議長（土屋勝浩君） これより採決します。

本案は委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

\* 議長（土屋勝浩君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は認定されました。

### 日程第3 議案第16号

\* 議長（土屋勝浩君） 次に、日程第3、議案第16号を議題とし、まず総務委員長の報告を求めます。

池田総務委員長。

[総務委員長 池田総一郎君登壇]

\* 総務委員長（池田総一郎君） 議案第16号 令和2年度上田地域広域連合ふるさと基金特別会計決算認定中担当分について、スポーツレクリエーション祭2020事業は4事業全て中止とあるが、その内容は。

これに対し、春は東御市のふれあいウォーク、夏は長和町のプール祭り、秋は青木村で遊ぼう、冬は上田市のスケート場まつりの開催を予定したが、4事業ともコロナ禍で中止になった。支出額の11万余は、東御市のふれあいウォーク準備経費であるとの質疑応答があり、本案中担当分については認定すべきものと決定いたしました。

\* 議長（土屋勝浩君） 次に、保健福祉委員長の報告を求めます。

宮下保健福祉委員長。

[保健福祉委員長 宮下省二君登壇]

\* 保健福祉委員長（宮下省二君） 議案第16号 令和2年度上田地域広域連合ふるさと基金特別会計決算認定中担当分については、質疑討論もなく、本案中担当分については認定すべきものと決定いたしました。

\* 議長（土屋勝浩君） 以上で委員長報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

\* 議長（土屋勝浩君） これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

\* 議長（土屋勝浩君） これより採決します。

本案は委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

\* 議長（土屋勝浩君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は認定されました。

#### 日程第4 議案第17号

\* 議長（土屋勝浩君） 次に、日程第4、議案第17号を議題とし、保健福祉委員長の報告を求めます。

宮下保健福祉委員長。

〔保健福祉委員長 宮下省二君登壇〕

\* 保健福祉委員長（宮下省二君） 議案第17号 令和2年度上田地域広域連合介護保険特別会計決算認定については、はじめに令和2年度の介護相談員の活動状況はどうか。

これに対し、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年3月より介護施設への入場が制限されたことを受け、年間を通じて介護相談員を派遣できない状況が継続した。

次に、介護相談員を派遣できなかった状況が決算にどう影響したか。

これに対して、介護相談員の報酬として前年度と比較し、約209万円が減額となった。

次に、介護相談員を派遣できない状況の中で相談員の資質の維持にどう取り組むのか。

これに対して、介護相談員には今年度に入ってリモート研修や先輩相談員の事例研修を受講することにより、介護施設側の受入れ再開後速やかに活動再開ができるよう準備を進めている。

次に、介護認定審査会について、令和2年度は介護認定の申請件数は減少したが、審査会回数に大きな変化はなかった。それぞれの理由は何か。

これに対し、介護保険制度の改正により介護認定の有効期間が延長されたことに伴い、令和2年度中に有効期限が満了となる対象者が減少したことにより申請件数の減少につながった。審査会については、年間スケジュールに基づき開催されるものであるため、令和元年度と比べ開催回数に大



きな変化はなかったが、1回当たりの審査件数を令和元年度の約36件から令和2年度は約30件とすることで、審査委員の負担軽減を図ったとの質疑応答があり、本案は認定すべきものと決定いたしました。

\* 議長（土屋勝浩君） これより委員長報告に対する質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

\* 議長（土屋勝浩君） これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

\* 議長（土屋勝浩君） これより採決いたします。

本案は委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

\* 議長（土屋勝浩君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は認定されました。

#### 日程第5 議案第18号

\* 議長（土屋勝浩君） 次に、日程第5、議案第18号を議題とし、総務委員長の報告を求めます。  
池田総務委員長。

〔総務委員長 池田総一郎君登壇〕

\* 総務委員長（池田総一郎君） 議案第18号 令和2年度上田地域広域連合消防特別会計決算認定について、はじめに平成26年度に整備した高機能消防指令装置の保守業務委託及び消防救急デジタル無線設備の保守点検業務委託について、業務委託の内容と契約金額の推移についてはどうか。

これに対し、高機能消防指令装置については、装置の重要度により保守対応を24時間対応、平日対応、スポット対応に分けるとともに、年1回の点検を実施しており、契約金額については約2,000万円で推移している。また、消防救急デジタル無線設備については、年1回の点検と契約期間中の保守業務を委託しており、契約金額については約770万円で推移している。

次に、令和2年度の管内における火災についてどのように分析しているか。

これに対し、火災件数は単なる前年度比での増加にとどまらず、過去5年間の平均を上まわっている。住宅火災による死者は、過去10年間の平均を大幅に上まわり、高齢者の犠牲が顕著であるため、住宅用火災警報器の設置促進を中心とした更なる防火対策の推進が必要であるとの質疑応答があり、本案は認定すべきものと決定いたしました。

\* 議長（土屋勝浩君） これより委員長報告に対する質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

\* 議長（土屋勝浩君） これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

\* 議長（土屋勝浩君） これより採決いたします。

本案は委員の報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

\* 議長（土屋勝浩君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は認定されました。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもって、令和3年10月上田地域広域連合議会定例会を閉会といたします。

午後 1時49分 閉 会